

## 【参考 10】職務内容等の向上があった場合の賃金改善の例

＜例1＞ 職務内容等の向上があった場合に、追加の手当を支給

等級	職務の内容	基本給・手当等
Aランク	上級プログラマー（AI等高度なプログラム言語を用いた開発）	1,600
Bランク	中級プログラマー（Webアプリ作成等中程度の難易度の開発）	1,250
Cランク	初級プログラマー（Excelのマクロ等簡易なプログラム言語を用いた開発）	1,000

能力の向上等があった場合、例えば基本給・手当額の1～3%の範囲で能力手当を支給。

例えば、勤務評価 A 評価が3%であって、C ランクの派遣労働者が A 評価を得た場合、基本給・手当等 1,000 円+30 円（3%）で、1,030 円となる。

＜例2＞ 職務内容等の向上があった場合に、向上に応じた基本給・手当等を支給

等級	職務の内容	基本給・手当等		
		1号俸	2号俸	3号俸
Aランク	上級プログラマー（AI等高度なプログラム言語を用いた開発）	1,600	⇒1,700	⇒1,800
Bランク	中級プログラマー（Webアプリ作成等中程度の難易度の開発）	1,250	⇒1,300	⇒1,350
Cランク	初級プログラマー（Excelのマクロ等簡易なプログラム言語を用いた開発）	1,000	⇒1,025	⇒1,050

能力の向上等の場合、基本給・手当額自体を増額。

例えば、能力等に向上があった場合は、1号俸→2号俸→3号俸と号俸を移動し、賃金が改善する。

＜例3＞ 職務内容等の向上があった場合に、より高度な業務に係る派遣就業機会を提供

等級	職務の内容	基本給・手当等
Aランク	上級プログラマー（AI等高度なプログラム言語を用いた開発）	1,600
Bランク	中級プログラマー（Webアプリ作成等中程度の難易度の開発）	1,250
Cランク	初級プログラマー（Excelのマクロ等簡易なプログラム言語を用いた開発）	1,000

能力の向上等の場合、より高度な業務に係る派遣就業機会を提供。

例えば、能力等に向上があった場合、C ランク→B ランク→A ランクと職務がレベルアップし、賃金が改善する。